

令和7年度 2学期
明浜中学校
学校評価

・学校評価は、子どもたちがよりよい教育を受けることができるよう、学校の教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。
・学校評価を行うことによって、保護者や地域住民の方から信頼される学校づくりを進めます。
・「計画 → 実行 → 評価 → 改善」のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。アンケートは、7月、12月の年2回実施します。

2学期の学校評価アンケートの集計結果です。御協力ありがとうございました。
保護者アンケートの回収率は、100%でした。

番号	対象	生徒、保護者、教員との比較ができるよう、アンケートでは似たような質問を設定しています。 上段：教員向け 中段：生徒向け 下段：保護者向け	単位：人 そう思う ← → 思わない A B C D ?				今年度 2学期 達成率	今年度 1学期 達成率	達成率とは、全員が「A」(=4)の「そう思う」という回答をした場合に、100%になります。評価の目安としてご利用いただけは幸いです。 達成率=(A×4+B×3+C×2+D)÷(A+B+C+D)÷4×100
			A	B	C	D			
1	教	先生方は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとする生徒を育てている。	5	3	0	0	90.6	86.1	教員・保護者ともに高い評価を維持しており、地域連携教育が着実に成果を上げています。生徒の評価がわずかに微減した点は、活動を「自分事」として捉えなおす機会ととらえています。3学期は生徒が主体的に地域に関わる場を増やし、郷土への誇りをさらに育みます。
	生	学校は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとしている。	23	8	1	1	90.2	95.8	
	保	学校は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとする取り組みをしている。	14	15	0	0	87.1	90.5	
2	教	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	2	6	0	0	81.3	80.6	教員は生徒の様子を肯定的にとらえていますが、一部の生徒や保護者の実感・野の間にわずかな差が見られます。一人ひとりの小さな変化を丁寧に見守り、すべての生徒が「明日も行きたい」と思える安心感のある学校づくりを推進します。
	生	私は、学校へ行くのが楽しみである。	14	12	7	0	80.3	81.9	
	保	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	10	18	3	1	78.9	80.6	
3	教	生徒は、自分から進んで学習に取り組もうとしている。	1	5	2	0	71.9	83.3	生徒の意欲は向上していますが、教員側はより高いレベルを期待し、現状を厳密に受け止めています。教員と生徒の「目指す姿」を共有し、家庭とも連携しながら、自ら学ぶ楽しさを実感できる支援を強化します。
	生	私は、自分から進んで学習に取り組んでいる。	13	17	4	0	81.6	81.3	
	保	生徒は、自分から進んで学習に取り組もうとしている。	7	17	5	0	76.7	78.2	
4	教	先生方は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	2	6	0	0	81.3	88.9	教員は自らの授業改善に厳しく向き合っており、更なる向上を目指す意欲が表れています。保護者の「分からない」という回答は、伸びしろと捉えています。授業参観や学級通信、学校だより等を通じ、ICT活用など具体的な学びの姿を積極的に発信し、安心感と信頼を高めます。
	生	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	19	10	3	1	85.6	88.9	
	保	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	7	16	0	0	82.6	88.5	
5	教	生徒は、部活動に満足している。	2	5	1	0	78.1	88.9	生徒の満足度は非常に高く、日々の活動が充実しています。少人数化や合同チームへの不安を教員・保護者が共有できている点は、組織的な支援の第一歩です。生徒の熱意を尊重しつつ、持続可能な活動環境について保護者の皆様と対話を進めてまいります。
	生	私は、部活動に満足している。	17	8	1	0	90.4	90.3	
	保	生徒は、部活動に満足している。	12	10	4	3	76.7	81.9	
6	教	先生方は、生徒の話をよく聞いている。	5	3	0	0	90.6	88.9	教員が「生徒に寄り添う」姿勢を強く意識していることが表れています。生徒の評価が落ち着いたのは、信頼関係が日常のものとなった証とも言えます。引き続き一人ひとりの声に耳を傾ける姿を大切に、御家庭にもその様子が伝わるよう努めます。
	生	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	21	12	1	0	89.7	96.5	
	保	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	8	17	1	0	81.7	88.4	
7	教	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	5	3	0	0	90.6	88.9	教員・生徒ともに「いじめ・差別は許さない」という意識が極めて高く、良好な校風が維持されています。この高い意識を継続し、全校で互いを尊重し合える温かい人間関係を人間関係を更に強固にしていきます。
	生	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	22	9	0	1	90.6	91.7	
	保	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	13	16	0	0	86.2	86.2	
8	教	学校は、いじめや生徒間のトラブルに適切に対応している。	4	4	0	0	87.5	97.2	生徒から高い信頼を得ています。教員が自己評価を厳しくしているのは、より迅速で細やかな対応を目指す責任感の表れです。未然防止の取組を強化し、学校の対応方針をより丁寧に伝えることで、更なる安心を提供します。
	生	先生は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。	22	7	1	0	92.5	93.8	
	保	学校は、いじめや生徒間のトラブルに適切に対応している。	9	8	1	0	86.1	88.1	
9	教	学校は、学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている。	6	2	0	0	93.8	97.2	多角的な情報発信が共通理解に貢献しています。保護者の皆様の期待に応える余地がまだあると認識しています。行事だけでなく、日常の何気ない成長の姿など、保護者の皆様が「今知りたい」情報をタイムリーにお届けします。
	生	学校は、学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている。	21	8	0	0	93.1	95.1	
	保	学校は、学校の様子や教育方針を適切に伝えている。	15	16	1	0	85.9	92.7	
10	教	先生方は、いけないことはいけないときちゃんと指導している。	5	3	0	0	90.6	86.1	教員の指導に対する自信と、生徒の理解が一致しつつあります。何がいけないことか、なぜ大切なのかを、生徒が納得感を持って受け止められるような温かく毅然とした指導を継続します。
	生	先生は、いけないことはいけないときちゃんと指導している。	26	6	1	0	93.9	95.8	
	保	先生は、いけないことはいけないときちゃんと指導している。	10	18	0	0	83.9	94.2	
11	教	生徒は、よくあいさつができる。	3	5	0	0	84.4	83.3	教員・保護者ともに一定の成果を感じていますが、定着に向けた継続的な働き掛けの重要性を再認識しました。学校内だけでなく、地域の方々へも自分から進んで挨拶ができる「明中生」を目指し、明るい活動をつくります。
	生	生徒は、よくあいさつができる。	19	13	1	0	88.6	90.3	
	保	生徒は、よくあいさつができる。	14	17	0	1	84.4	86.7	
12	教	先生方は、生徒のよいところを認めている。	6	2	0	0	93.8	91.7	教員が意図的に称賛の機会を増やしている一方で、生徒がそれを受け取る「実感」にはまだ向上の余地があります。形だけの称賛ではなく、一人ひとりの心に深く届く具体的なフィードバックを心掛け、自己肯定感を高める対話を大切にします。
	生	私は、先生や友達から自分のよいところを認められている。	15	14	1	0	86.7	91.4	
	保	先生は、生徒のよいところを認めている。	10	19	1	0	82.5	85.0	

今学期は、地域連携やいじめ防止、部活動の充実において高い評価をいただきました。一方で、学習意欲の向上や、一人ひとりの「認められている実感」には、教員側が期待する水準との間に差が見られます。これらを踏まえ、本校は今後以下の改善を柱に、組織一丸となって教育活動に邁進します。①授業の質の向上と可視化：ICTをより効果的に活用し、生徒が「分かる」と実感できる授業を構築するとともに、その様子を御家庭へ積極的に発信します。②個に寄り添う対話の強化：教員側の一方的な指導に留まらず、生徒一人ひとりの声に耳を傾け、自己肯定感を高める丁寧な関わりを徹底します。③信頼に応える情報提供：保護者の「分からない」を解消するため、学校の教育方針や生徒の活躍をよりタイムリーに共有し、連携を深めます。私たちは、生徒が明日を楽しみに登校できる学校づくりに全力で取り組んでまいります。